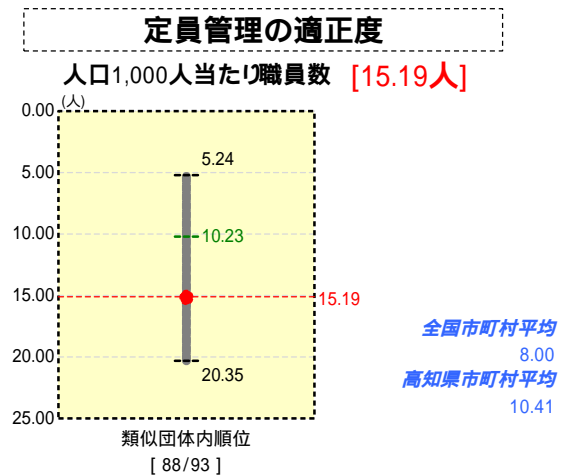
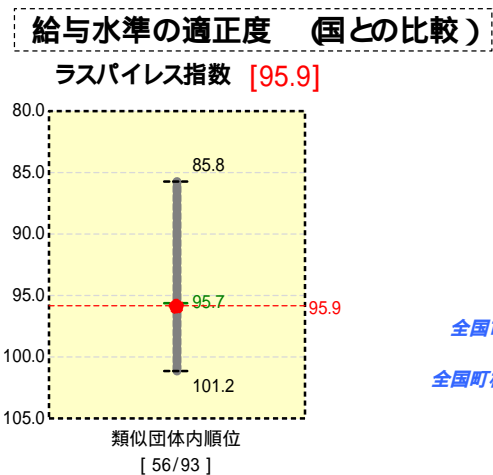
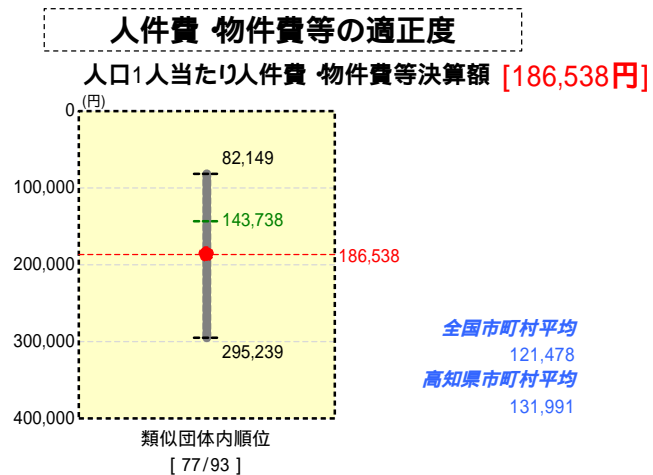
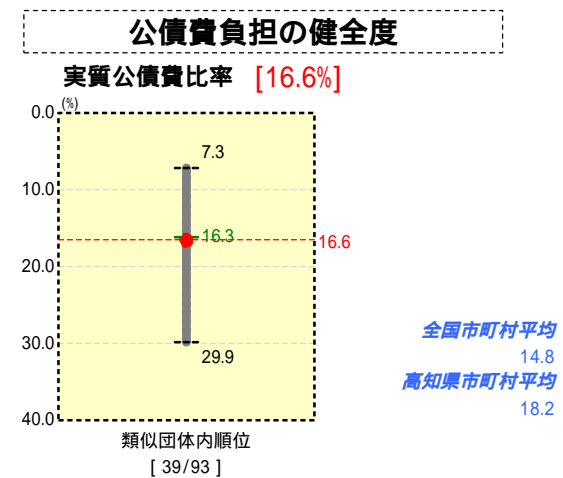
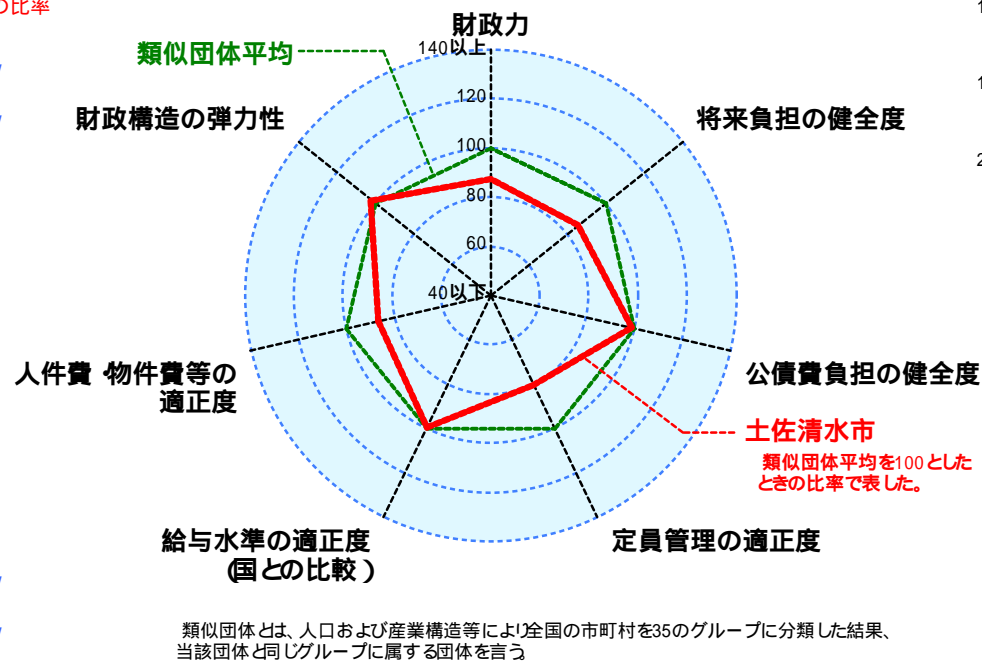
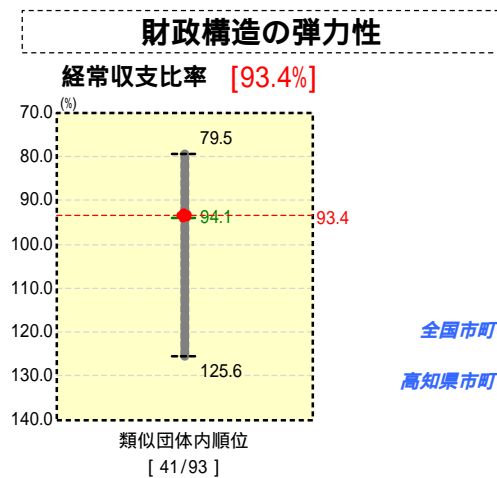
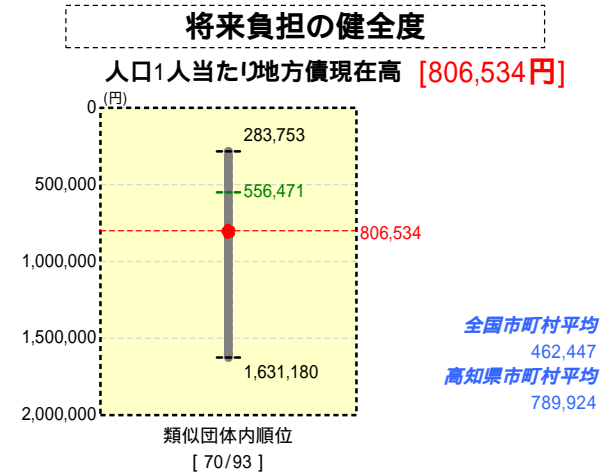
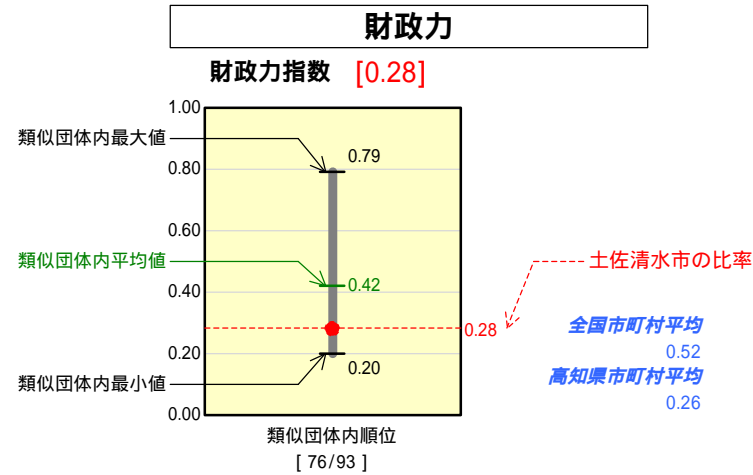


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

高知県 土佐清水市

人口	17,975	人(H18.3.31現在)
面積	266.52	km ²
歳入総額	10,202,398	千円
歳出総額	10,179,042	千円
実質収支	16,615	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】

過疎化、少子高齢化に加え長引く景気低迷と、特に給与所得者層の所得減及び法人税等の減収から類似団体平均を下回っている。

【経常収支比率】

団塊世代の退職者に対して新規採用は1/2以下等の人員費・物件費及び投資的経費の抑制から類似団体平均を下回っているが、今後は地方税・地方交付税の減少や扶助費等の増加が予想されポイントは悪化するものと思われる。

【人口1人当り人件費・物件費等決算額】

消防署を広域ではなく独自で設置しているため及び保育所運営による人員費・物件費が類似団体平均を上回っている要因と思われる。

【人口1人当り地方債残高】

臨時財政対策債等の発行により類似団体平均を上回っているが、集中改革プラン等による投資的経費の抑制により今後の発行額は減少するものと思われる。

【実質公債費比率】

集中改革プラン等により地方債の発行は抑制されているが、地方交付税等の減少に伴い、今後ポイントの悪化が予想される。

【人口1,000人当り職員数】

市の面積が広大で、類似団体と比較して保育所、消防署、支所等多く配置しなくてはならないため平均を上回っている。集中改革プラン等により施設の統廃合と事務事業の見直し・効率化・職員数の削減を推進している。

【ラスパイレース指数】

これまで各種手当については見直しを実施してきたが、給与カットは実施していないため類似団体平均より上回っている。今後は状況により給与カットも実施しなければならないと考えます。